

いわき民報

発行所 平井町三丁目
電話 九〇二番
社報民報
己克輝千
く除を日
十三部一

産婦人科

齊藤醫院

平井町五七
電話九〇二番

堂々全市をデモ行進

生活権獲得市郡勤労者大会

さよう平驛前の廣場で開催

平井町の勤労者を打つて一丸とした本町をとり地方事務所に至り知事代理として渡邊地方事務所長に決議文を提出、新川町大町を経て市役所前に至り再び本町通りを経て平驛前廣場に集り三時三十分、解散した。

決議文

祖國再建の礎は我等勤労者の自主的行動と民衆生活の安定にあることを信じて之が實現に必死の努力を傾注し來た、然るに保守頑迷なる現内閣は遂に我等の要求に對し余りにも不誠意なる回答を以て購取組石城支部青年部結成大會は二十五日午前九時から警署講堂に六百名集合のもとに開催、江名實業の和田敬久氏を議長に推選、方針宣言及決議を行ひあくまで要求貫徹に邁進することを固く誓つた、尚部長には鈴木節長氏(小名濱商業)副部長には荒坂正(小名濱第一)村田よし子(高坂國民校)の兩氏が推された。

湯本地区スト宣言

廿七日大會を開いてデモへ

民主共同労働者會湯本地区の共同スト宣言大會は二十七日正午から湯水町警署講堂で開かれ、大會後同様に進出するに全町をデモ行進して氣勢をあげることにした、参加は國鐵、全公會堂日本間に開催左記事項を要請、炭礦、品川白煉瓦等、各組合十名に達する豫定で

市常會

市常會は二十五日午後一時から公會堂日本間に開催左記事項を要請した

業務管理斷行

さようから教組支部が

全國三十二萬の全區教員組合では二十五日を期して準備に入つたが郡並に平支部でも之に即應、二十五日から業務管理を斷行、三十一日迄教組闘争委員の手で運営する事になつた

市郡下各校の業務管理斷行

さようから教組支部が

教組石城支部青年部と結成

さよう平驛前の廣場で開催

購取組石城支部青年部結成大會は二十五日午前九時から警署講堂に六百名集合のもとに開催、江名實業の和田敬久氏を議長に推選、方針宣言及決議を行ひあくまで要求貫徹に邁進することを固く誓つた、尚部長には鈴木節長氏(小名濱商業)副部長には荒坂正(小名濱第一)村田よし子(高坂國民校)の兩氏が推された。

御挨拶

戦災後永らく疎開の處、今般左記に復歸從來通り診療を開始致しましたから何卒宜敷く御交誼御指導を御願ひ致します

内科 三井醫院

三井五郎
(電話一五五番)

急募

人夫 二十名
待遇三十五圓以上
平井町九一

荒木工業所

(平働労働者)

助川寫眞館

出張撮影に應じます
小名濱町

女房の家出

市内銀治町無職大塚末吉妻かめ(四三)は去る十八日夜三男正(四三)に夕飯に猫いらすをいれ砂糖をかけたかめと言つて母子心中をはかつたが失敗するやそのまゝ家出した、捜索中だがかめよさんは三年前から肺を患つていたが前途をはかなんだものとみられる

復員御挨拶

應召中のところ本月五日比島上り復員致しましたので二十五日から從前通り整形外科の診療を開始致しましたから何卒宜敷く交誼の程御願ひ申上げます

大河内醫院

整形外科 大河内醫院
電話五八八番

移轉御知らせ

強制疎開のため平井城山の自宅に於て診療中のごとく十七日より從前通り平驛前に於て診療を開始致しました

高柳醫院

電話九九九番
自宅 電話三三六番

金庫は甲子

大型金庫・手提金庫・書庫
在庫豊富
福島縣一手販賣
廣屋商店
小名濱町下町電話一六八番

磐中出身者に告ぐ

待同窓生諸兄の最近の動靜を左記に通知ありたし

磐中同窓生名簿編纂委員

委員長 山森 正一

